

2008年6月2日  
第24回JPドメイン名諮問委員会  
資料3

# JPドメイン名の概況と ドメイン名を取り巻く状況について

2008年6月2日(月)

株式会社日本レジストリサービス

## 目次

1. JPドメイン名の概況
2. 他レジストリの状況
3. ドメイン名に関連する新しい市場

# 1. JPドメイン名の概況

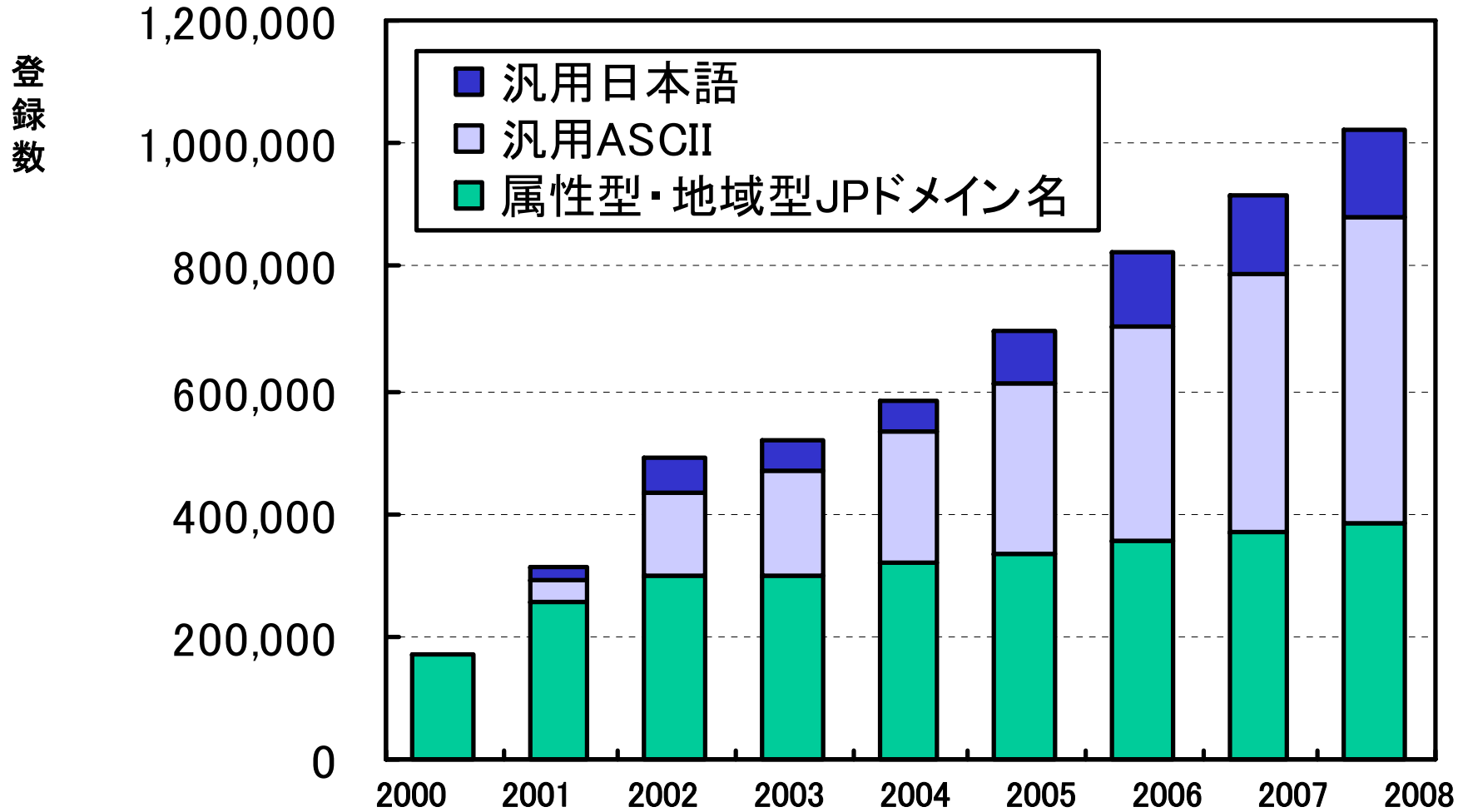
# JPドメイン名の種類と登録数 (2008/5/1現在)

属性型・地域型JPドメイン名(合計:382,973)		
〇〇.AD.JP	JPNIC会員	279
〇〇.AC.JP	大学など高等教育機関	3,455
〇〇.CO.JP	企業	319,254
〇〇.GO.JP	政府機関	891
〇〇.OR.JP	企業以外の法人組織	23,919
〇〇.NE.JP	ネットワークサービス	17,337
〇〇.GR.JP	任意団体	8,221
〇〇.ED.JP	小中学校など初等中等教育機関	4,513
〇〇.LG.JP	地方公共団体	2,036
地域型	地方公共団体、個人等	3,068
汎用JPドメイン名(合計:637,790)		
〇〇.JP	組織・個人問わず誰でも(英数字によるもの)	494,772
□□.JP	組織・個人問わず誰でも(日本語の文字列を含むもの)	143,018

総計 **1,020,763**

# JPドメイン名の登録数推移

※各年5月1日時点の登録数



# JPDメイン名登録数：1年前と比べて

- 全体 11%増
- 属性型・地域型JPDメイン名 4%増
  - CO.JPが4%増
- 汎用JPDメイン名 16%増
  - 全体
    - JPDメイン名全体の60%であったのが62%に増加
  - ASCII
    - 18%増
  - 日本語
    - 10%増
    - JPDメイン名全体の14%  
(7個に1個は日本語JPDメイン名)

## 汎用JPドメイン名(ASCII)の概況

- 商品やサービスに対応するドメイン名登録
- 個人や小規模組織によるドメイン名登録



- 個人にも浸透中
  - 登録しやすく安心して使えるサービスへ
- 料金低廉化
  - 値下げ
    - 2004年10月 3,500円 → 3,000円
    - 2007年3月 3,000円 → 2,500円
  - 指定事業者と連携し、新規市場を開拓中

## 汎用JPドメイン名(日本語)の概況


- 商品名や氏名などをドメイン名として登録
- Internet Explorer 7 (IE7)では、日本語ドメイン名が利用可能
- IE7の自動配布開始(2008年2月13日～)



- 利用環境の整備に伴い、今後も登録数の増加傾向は続くと考えられる



## 属性型・地域型JPドメイン名の概況

- CO.JPドメイン名
    - 属性型・地域型ドメイン名の83%を占めている
    - 汎用JPドメイン名サービス開始後も登録数増加
    - 日本の企業はCO.JPというブランド(信頼)
- 
- 今後も信頼性の維持・向上を図る
  - 登録手続きの即時化を2008年6月からサービス開始

## 2. 他レジストリの状況

## 他レジストリの状況 (1)

- ccTLD
  - 制限の緩和
    - 国外への開放(国内住所を必要条件としないなど)
    - 個人による登録可能化
    - 登録者と関係ない文字列のドメイン名を登録可能化
  - 登録管理サービスの拡張
    - IDN(Internationalized Domain Name: 国際化ドメイン名)
    - 数字のみを使ったドメイン名の登録開始
      - .sg(シンガポール)、.nl(オランダ)など
      - 【例】 7.sg、55.nl など
  - 登録料・更新料値下げ
    - .cn(中国)の登録料1元(=約15円)キャンペーンなど
  - IDN TLD(例:「.日本」)の創設を検討中

## 他レジストリの状況 (2)

- gTLD

- .mobi(モバイル用), .asia(アジア太平洋地域用)など、TLDの種類が増加

- .asiaは、定常的なサービスに入る前に、ある期間を定め、その間に複数の人が同じドメイン名を希望したらオークションで当選者(=登録者)を決める、という施策を実施

- 登録料・更新料値上げ

- 2007年10月

- .com \$6.00 → \$6.42 (7%値上げ)
      - .net \$3.50 → \$3.85 (10%値上げ)

- 2008年10月

- .com \$6.42 → \$6.86 (約7%値上げ)
      - .net \$3.85 → \$4.23 (約10%値上げ)

- IDN TLD創設を検討中

### 3. ドメイン名に関連する新しい市場

## ドメイン名を取り巻く状況

- **市場の急速な拡大は継続**
  - － ドメイン名の総登録数  
1億4,600万ドメイン名 対前年比131%で市場拡大  
(2007年9月 VeriSign発表)
  - － .JPは、対前年比111% (2007年5月～2008年4月)
- **ドメイン名利用方法の拡充**
  - － 従来からのドメイン名の利用方法は堅実に拡大
    - 会社Web利用、メール利用、ISPドメイン名の利用など
  - － 新しい形態での利用方法が拡大中
    - 個人利用等の新しい使用法
  - － 自分で利用するのではなく、流通や貸借に関する市場も拡大
    - 「ドメイン名の流通」が市場を構成
    - 売買仲介、ドメインパーキング(後出)等のサービスも

市場拡大

市場拡大

ドメイン名市場

利用拡大や安全性向上を目指す技術

- ・IDN/EAI
- ・DNSSEC

登録・取引のための市場の活性化

- ・ドメイン名売買
- ・オークション
- ・ドメインテイスティング
- ・Wait-Listing Service
- ・バックオーダー

利用法の多様化

- ・ブログ、SNS
- ・本格型収益サイト
- ・ドメインパーキング
- ・独自ドメイン名利用サービス

- ・新TLD (IDN TLDを含む)
- ・登録資格の緩和
- ・未利用ドメイン名の開放

ドメイン名登録機会の拡大

市場拡大

市場拡大

## ドメイン名を取り巻く状況 - 利用法 - (1)

- **ブログ、SNS**
  - ブログ(正式名称:Weblog)  
日々更新される日記的なWebサイトの総称  
【例】FC2ブログ、Ameba by Cyber Agentなど
  - SNS(正式名称:Social Networking Services)  
一定のコミュニティを促進・サポートするWebサイト  
【例】mixi、GREEなど
- **本格的収益型サイト**
  - 自らの事業と関係ない良いドメイン名(例:普通名詞)を登録した者が、そのドメイン名を活かしたサイトを運用し、広告料や通信販売収入を獲得
  - その支援をサービスとして実施する銀行や広告事業社が出現



## ドメイン名を取り巻く状況 - 利用法 - (2)

- **ドメインパーキング**
  - 自らの事業と関係ないドメイン名を登録し、パーキング事業者に預託
  - パーキング事業者は、そのドメイン名でWebを作成し、そこに広告を掲載 → 広告がクリックされる毎にドメイン名登録者は広告仲介収入を獲得
- **独自ドメイン名利用サービス**
  - Webホスティングやメール等の各種サービスに独自のドメイン名を利用
  - 【例】Microsoft Office Live、Google Apps for Your Domain、AOL My eAddress など

# ドメイン名を取り巻く状況

## －ドメイン名登録機会－

- 新TLD (IDN TLDを含む)
  - － 新たなgTLD、IDN gTLD、IDN ccTLDの出現によるドメイン名サービスの提供 (現在ICANNおよび各レジストリが準備中)
  - 【例】日本レジストリサービス.日本
- 登録資格の緩和
  - － ローカルプレゼンス(国内に住所を持つこと)をドメイン名登録の資格要件とすることの緩和・撤廃
  - － 個人による登録、任意の文字列の登録
- 未利用ドメイン名の開放
  - － 数字ドメイン名、2文字ドメイン名の開放や予約ドメイン名の開放等により更なるドメイン名の利用機会を拡大

## ドメイン名を取り巻く状況 - 登録・取引 - (1)

- **ドメイン名売買**
  - 商業上の通常の取引としてドメイン名の売買が行われている場合もある
  - 2007年7月に「business.com」が3億4,500万ドルでアメリカの電話帳会社に売却されている
  - ドメイン名の価値を査定したり売買を仲介するサービスも登場
- **オークション**
  - ドメイン名売買の一形態
  - SnapnamesやSedoなど、ドメイン名オークション市場を運営している業者も存在する

## ドメイン名を取り巻く状況 - 登録・取引 - (2)

- ドメインテイスティング

- .comなどを大量登録し、5日間の無料登録期間中にアクセスを集められるドメイン名かどうかを試し、良いドメイン名を残して他をキャンセル
- 過度のドメインテイスティングを抑止する策として、5日以内のドメイン名キャンセルが多い(※)レジストラには多く課金する施策をICANNが開始

※登録数の10%以上、もしくは50件以上

## ドメイン名を取り巻く状況 - 登録・取引 - (3)

- Wait-Listing Service (通称:WLS)
  - レジストリが行うドメイン名の予約サービス
  - 既に登録されているドメイン名が廃止されたときに登録したい旨の申し込みをレジストリに対し行う
  - 予約できるのは1人だけ
- バックオーダー
  - レジストラが行うドメイン名の予約サービス
  - ドメイン名が廃止される直前に、登録したい旨の申し込みをレジストラに対し行う
  - 廃止後のドメイン名が、どの申込者に割り当てられるかは、オークションなどレジストラが決めた種々の方法で決められる
    - 例えばオークションの場合、希望者が1名のときは登録料金は通常60米ドル程度だが、複数の希望者がいた場合は数千米ドルから数万米ドルまで上がることもある

## ドメイン名を取り巻く状況 - 技術 -

- IDN/EAI
  - 英数字以外のドメイン名IDNの標準化は完了しドメイン名登録サービスおよびブラウザ等のソフトウェアが充実してきた
  - 英数字以外のメールアドレスを可能とするEAI(E-mail Address Internationalization)はほぼ標準仕様案がまとまりメールソフトの対応が期待される
- DNSSEC(正式名称:DNS Security Extensions)
  - DNS応答の改ざんを検出可能とするための技術
  - 電子署名の技術により、DNS応答の完全性(integrity:権限のない者による変更の防止)と認証(authenticity:対象の正当性の検証)の機能を提供し、DNS応答に電子署名の情報を付加する

## まとめ

- ドメイン名は、
  - 企業が、自社情報を公開したり、仮想店舗としてお客様サービスをするホームページの名前として使う
  - メールの利用者が、ある企業に属することを示す
 という認識は十分定着してきた
- 最近では、
  - 利用法の多様化
  - ドメイン名登録機会の拡大
  - 登録・取引のための市場の活性化
  - 利用拡大や安全性向上を目指す技術
 がめざましい展開を見せてきている
- これらのトレンドが、JPドメイン名、ひいては日本のインターネット利用者に健全に作用するようにする必要がある